

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年2月17日

事業所名 POCCOくしがた

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	0	利用人数の多い時は、相談室を開放して宿題・カードゲームなどを行っている	
	2	職員の配置数は適切である	5	0	0	法に則った人数で療育を行っている	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	0	0	玄関から室内までフラットで車椅子が入りやすい	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	0	利用者の療育について、職員間での話し合いが行われている為、共通認識をもって療育にあたることができています	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	0	保護者の意見を受け止め、改善に努めている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	1	毎年公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	0	様々な研修に積極的に参加している	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	自発管を中心に職員間で話し合い、作成している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	0	1年に1度、S-M社会能力検査を実施している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	0	互いにアイデアを出し合い、活動担当がプランを作成している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	0	毎月アイデアを出し合い、マンネリ化しない楽しい活動を考えている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1	0	来所人数や滞在時間に応じた活動を計画している。	余暇活動の時間を生かした療育を更に考えていきたい
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	偏りの無いよう、一日の活動の中でも個別・集団の時間を作っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	0	職員間で朝の会を行い、確認事項の共有や前日の活動などについて話し合っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3	0	帰りの送迎があり時間の確保が難しいが、職員のグループラインを活用し、情報の共有を図っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	0	記録時に十分な時間を確保し、職員同士が情報交換できる環境を整えている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	0	課題に対して複数の職員で考察を行い必要性を判断している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	単調にならない様、複数の内容を組み合わせた活動や支援を行っている。		

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	5	0	0	責任者のみに限らず、対象利用児に関わる 職員が誰でも会議に参加できるよう情報共 有を行っている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	5	0	0	電話・FAX等で適宜情報共有を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	2	2	1	主治医との直接的なやりとりは無いが、病 院やリハの様子を保護者から連絡を頂いて いる	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	4	1	0	相談支援員さんを通して、情報共有をいて いる	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	3	2	0	対象児がいませんでした。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	3	2	0	興味のある研修には積極的に参加し、知識 を深めている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	1	1	3	感染症を懸念して、外部との交流を制限し ている	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	1	1	3	感染症を懸念して、外部との交流を制限し ている	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	5	0	0	送迎時やHUGを利用して、こまめにお伝え している	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	3	0	2	山内先生の相談会へのお誘いやPOCCOで の様子を基にお話しをしている		
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	5	0	0	契約時に説明させていただいている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	5	0	0	保護者から相談があった時は丁寧な対応を 心がけ、職員間での情報共有に努めている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	2	3	0	去年はクリスマス会に保護者を招待し、交 流の機会を持つことができた	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	5	0	0	苦情を受けた時の対処方法を確認し、迅速 に対応するよう努めている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	5	0	0	公式ラインやインスタグラムを定期的に更 新し、日々の様子を保護者へ発信している	
	35	個人情報に十分注意している	5	0	0	個人情報の取り扱いには十分に注意してい る	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0	利用日の活動の様子を写真でお伝えしてい る	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている	3	1	1	感染症を懸念して、外部との交流を制限し ている		

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	0	各マニュアルはいつでも見ることができるよう、事業所の棚に置いている	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	0	定期的に訓練を実施して保護者様にお伝えしている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0	研修を受け、POCCOグループ内で虐待防止委員会を設立している	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	0	身体拘束が必要な児童については保護者へ丁寧に説明を行い、了承を得ている。やむを得ず身体拘束を行った場合には、拘束の経緯などを保護者へ伝えている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	0	アレルギーのある児童の把握と対処方法を全職員で共通理解している	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	0	すぐに事例をあげ、共有している	